

= 業界情報 =

令和6年度 CO・HC測定器定期校正の実施計画について

認証工場を対象とする標記定期校正を、通達に基づき下記により実施します。
また、該当支部の事業場(認証工場)には追ってご案内しますが、あらかじめご承知置き下さい。

令和6年度 CO・HC定期校正計画表

支 部	実 施 日	実 施 場 所	時 間
甲 府 北	2月18日(火)	振 興 会 実 習 場	9:00~16:00
甲 府 南	3月11日(火)	振 興 会 実 習 場	9:00~16:00
日 下 部	3月13日(木)	振 興 会 実 習 場	9:00~16:00
市 川	3月18日(火)	振 興 会 実 習 場	9:00~16:00

街頭検査の実施結果について

定期点検整備の促進と不正改造車排除を図るため、標記街頭検査が実施されました。
街頭検査の結果は、以下のとおりです。

日時	実施場所	参加者	摘要
12月12日(木) 13:30~15:30	南巨摩郡南部町富士 地方整備局敷地内	運輸支局 3名 自動車技術総合機構 1名 警察 2名 総合県税事務所 税務課 5名 南巨摩南支部 5名 振興会 2名	総検査車両数 15台 不良車両数 2台 整備命令 0台 口頭警告 2台 車検切れ 0台

主な不適合箇所 走行装置

大型車ホイールナット締め付け点検実施台数 10台(緩み有り 3台)

硫黄分濃度測定結果 15台(基準値越え 0台)

* 南巨摩南支部の皆さま、
ご協力ありがとうございました。



締め付けトルク確認の様様

全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.155

【内 容】

バンパーの修理の見積もりを依頼し、一旦車両を返却してもらった。その後、駐車場で見積り箇所のバンパーが車体から外れ脱落、破損してしまった。原因はバンパーのネジ、クリップ等の取り付け忘れによる脱落とのこと。停車中の脱落であったのが不幸中の幸い、走行中に脱落したと考えれば、かなり危険だったのではないかと思います。既に事業場に苦情を入れており、警察や弁護士にも相談しているが、受傷したわけではないので、警察や弁護士もなかなか取り合ってくれない。行政処分を下してもらいたいくらいの怒りを感じている。

【対 応】

振興会は行政処分を下せる機関ではないと説明すると、振興会から事業場へ再発防止を指導してほしいと要望された。事業場へ今回の内容の確認を行い、対応等に問題があるようであれば指導を行うことを約束し、相談を終えた。

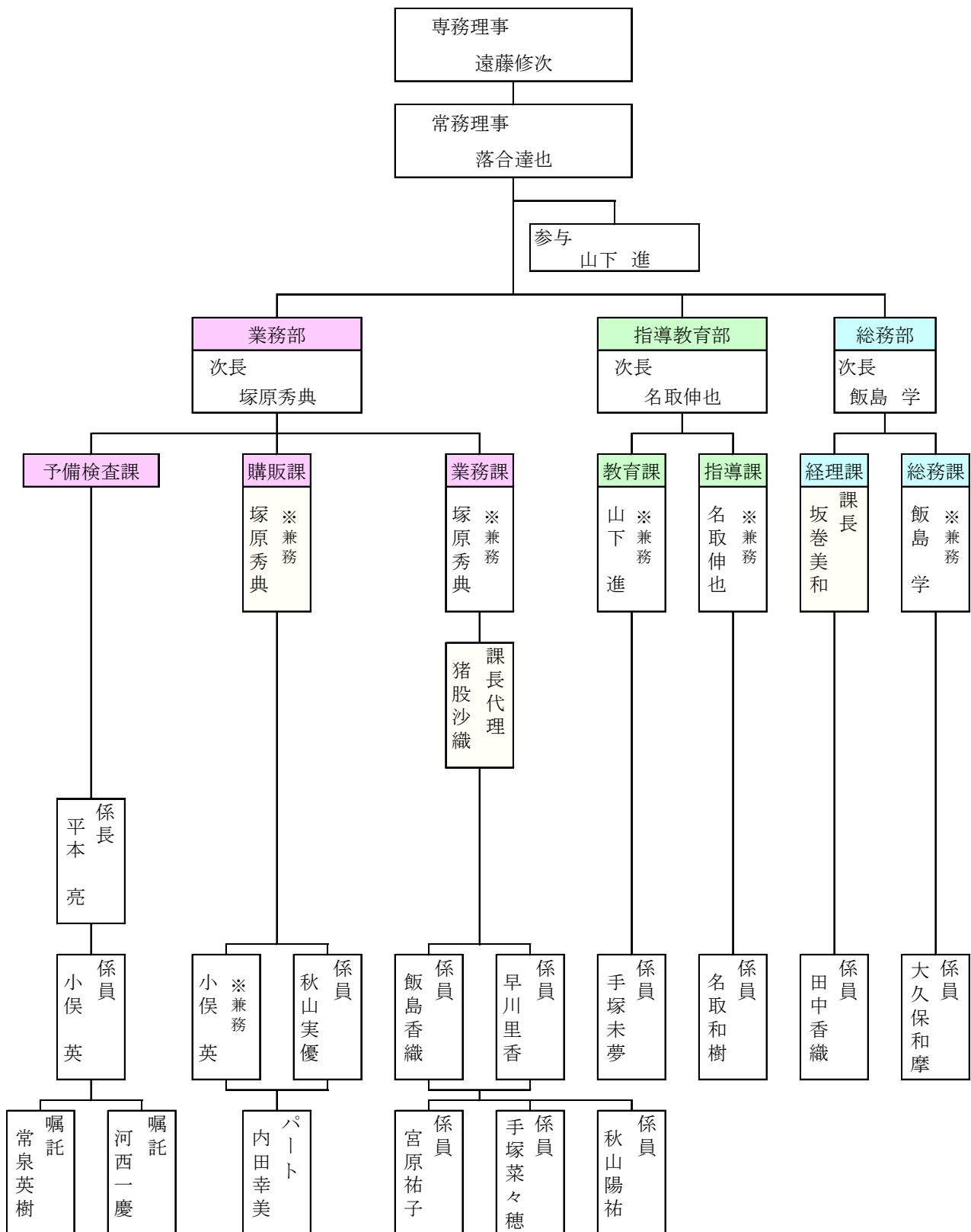
当該事業場に確認すると、相談者の言う内容に間違いはない様子で、事業場担当者もバンパーのネジ取り付け忘れの非を認めた。相談者と話し合いをしているが、相談者からの過剰な要求の対応に苦慮しているとのこと。振興会からは、相談者からの意見や苦情を伝え、今後同じことを繰り返さないよう対策を講じて欲しいと指導し（指定工場でもあるため、苦情処理規定等に則り対応、指導を行ってもらうように伝達）、相談を終えた。

車検・点検案内はがき「お楽しみくじ」 12月分当選発表

事業場	認証	支部	事業場	認証	支部
日栄小沢自動車整備工場	472	甲府東	カーショップ昭和	1277	市川
(有) 大久保自動車工業	983	甲府南	功刀モータース	213	市川
(有) アユザワ自動車	127	甲府南	河野自動車整備工場	963	市川
志村自動車	1256	甲府南	(株) 稲葉工業	63	南巨摩南
(株) キムラ 第2・第3工場	411	甲府南	中込モータース	364	南巨摩北
東洋モータース(株)	972	甲府北	山田自動車整備工場	856	南巨摩北
末木モータース	431	峡北	御坂自動車修理工場	165	東八
(株) 下井出	1035	峡北	雨宮自動車整備工場	790	東八
(有) 奥石自動車工業	665	韮崎	塩山オートサービス	550	塩山
ボディショップフカサワ	986	韮崎	福田オート	447	塩山
田中自動車工場	996	韮崎	森山自工	842	塩山
常盤自動車整備工場	480	南アルプス南	三浦自動車	955	岳麓
新津モータース	413	南アルプス南	岳麓マツダ自動車(株)	292	岳麓
(株) オートサービス三金	559	南アルプス南	古久屋自動車	1009	大月
前沢自動車工業(株)	749	南アルプス北	コマタオートセンター	433	都留

事務局組織図について

令和7年1月6日現在



ヘッドライトテストを用いた 前照灯検査(ロービーム計測)の 全国移行期限を延期します

平成10年9月1日以降に製作された自動車（二輪車、側車付二輪車、大型特殊自動車及びトレーラを除く）のヘッドライトの検査は、令和6年8月1日以降、全車ロービーム計測に移行する予定でしたが、周知期間中にいただいた様々なご意見を踏まえ、全国的に移行する期限を「令和8年8月1日」に延期します。

過渡期においては、円滑な移行に向けた取り組みを実施し、準備・調整が整い次第、地域ごとに全車ロービーム計測に移行してまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

【ロービーム検査の必要性について】

夜間走行しているとき、対向車やバックミラーに映るヘッドライトがまぶしく感じることはありませんか？また、暗くて不安を感じることはありませんか？

ヘッドライトの照射光線は走行時の振動等によりズれていくものですので、適切に点検・整備・調整をして性能を維持し続けないと、その照射光線が他の交通を妨げてしまったり、自己の運転に支障をきたすことになります。

このため、車検制度において定期的に検査することとしています。



対向車のまぶしいヘッドライト



バックミラーに映るまぶしいヘッドライト

※ 裏面もご確認ください。

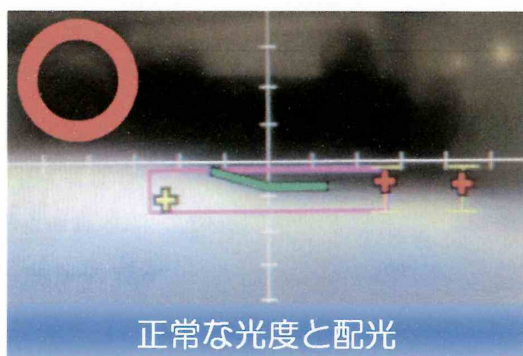
ロービームの光度及び向き 適切な整備・調整のお願い

自動車のヘッドライトは樹脂製が主流です。ロービーム計測で基準不適合となる自動車は、①レンズ面のくもり②内部リフレクタの劣化③前照灯ユニットと相性の悪いバルブに交換した等により、光度が不足した状態や配光が崩れた状態のまま受検しているものがほとんどです。

ロービーム計測対象車については、ロービームの光度及び向きが基準に適合するよう、適切な整備・調整をお願いします。

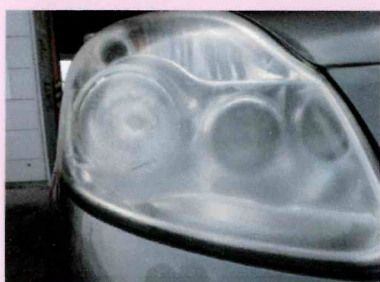
◎レベリング装置の位置を標準状態に戻してから調整開始！

◎照射光線は合格エリアの端部ではなく中央に合わせる！



これらは適切な整備・調整が必要です！

整備・調整には費用がかかります。料金は自動車整備工場等にご確認ください。



相性の悪いバルブに交換